

MAKE-UP

*女はこれほど
セクシーでゴワフルに
変われるものなのか！

現代女性の内に潜む野性・暴力性を
鋭くえぐった衝撃の問題作！

サンフランシスコ・嵐・ブロード
リッpstティック・レイフ・処刑
いま、華麗なるワイルド。



<イーストマンカラー>

ソンドラ・ロック
コリーン・キャンブ
サイモア・カッセル

メイクアップ

監督ピーター・トレイナー
音楽ジミー・ハスケル
<サントラ盤=セブンシーズ・レコード>

提供 インターナショナル・プロモーション/テレキャスジャパン

アイブローでひいた眉が、アイシャドウの青い影が
燃えるルージュが女を変えてゆく!

メイクアップ



提供 インターナショナル・プロモーション
テレキャスジャパン

★全米にセンセーションを巻き起した、衝撃の女性
映画遂に日本に登場!

ブロンドの可愛い少女が嵐の夜、眩しいばかりに成熟した女、行動する女に変わった。

サンフランシスコで実際に起った戦慄の事件を基にして作られたこの映画は、そのショッキングな映像と、「リップスティック」を超えた女の変身の凄まじさによって、公開されるや全米に一大センセーションを巻き起した。

これほどまでに少女がセクシーでパワフルに変わるものなのか!

現代女性の内に潜む野性・暴力性をここまで描いていいものか!

舞台はサンフランシスコ。嵐の夜、ジョージ(サイモア・カッセル)は雨で濡れぬ二人の少女を家の中に招き入れた。

二人はジャクソン(ソンドラ・ロック)、ドナ(コリーン・キャンプ)と名乗った。

ジョージは二人の為にバス・ルームを貸し衣服を乾かしてやった。

バス・ルームに入った二人がなかなか出てこないのに業を煮やしたジョージは、バス・ルームをのぞいて息をのんだ。そこには、眩しいばかりに輝く“女”の成熟した姿態があった。先ほどまで天使のようにふるまっていた二人の少女が大胆なポーズでジョージに迫って来た。彼はかつてない興奮にふるえ、官能の一夜を過ごした。だが……。

ジョージは畏にはまった。縛り上げた彼の目の前で二人は急入りのメイクアップを始めた。アイブローが、アイシャドウ

の青い影が、燃えるルージュが女を変えていく。

二人の目的は何なのか!官能のゲームは、ついに恐怖の処刑ゲームへ……。

主演は「ガントレット」のソンドラ・ロックと「死亡遊戯」の新星コリーン・キャンプ。

二人のエキセントリックなメイクアップも見どころの一つ。監督は新鋭ピーター・トレイナー。

『メイクアップ』

平尾圭吾(アメリカ文化研究家)

これは凄い映画ですヨ。

冒頭、のんびりソフトな歌が流れ、ゴールデンゲート橋やサンフランシスコ湾をのぞむ、美しい風景描写にかぶせて芝生ではしゃぐ夫婦など、のどかなオープニング・シーン。

これはどうやらアメリカ上流家庭の夫婦愛物語かな、なんて思いながら見ていると、これがとんでもない!

妻が実家へ帰った留守、夫ひとりっきりの平和にひたっているところへ若い二人の女の訪問者。ほう、二人とも美人だな。

ソンドラ・ロックもいいが、コリーン・キャンプもステキだなんてニヤニヤしている。ところが、この可愛い女が突然変わるんです。バス・ルームで三人がもつれ合っただけを展開するところから、二人の女の変身が始まるんです。そして次から次へと現代アメリカ女性の内にひそむ野性・暴力性が頭をもたげ、もはやまったく抑えがたいものになってしまう。感心したことが一つ。劇中、二人が男を裁判にかける処刑ゲームには驚クんですネ。二人が使う言葉がすごく専門的で、本当の裁判そっくりのセリフがポンポン飛び出す。強姦という言葉ひとつにしてもRAPE などという一般語は使わないあたり(使っているのはASSAULT)、いまのアメリカの女の子をよく描いている。

この映画は1975年10月にサンフランシスコで実際に起った事件の映画化だそうだが、このところアメリカ女性の急変ぶりは凄まじく、暴力性はとみにエスカレートしている。

最近では、ミス・ワイオミングに選ばれたことのある金髪の美人が、年下の元婚約者を何と、銃で脅して犯した。なんてショッキングな事件があったように、男としては、うかうかしてられませんゾ。



10月6日(土) 衝撃のロードショー!

1000円のお得な特別鑑賞券
好評前売中! (劇場及プレイガイドにて)

有楽町 ニュー東宝 1 (571)
日劇前 シネマ 1946

新宿ロマン (351)
3674

池袋スカラ座 (971)
1977

吉祥寺スカラ座 0422
(48)
6521